

宇宙からの侵略生物 (1957)

QUATERMASS II
ENEMY FROM SPACE

メディア 映画

ジャンル SF

製作国 イギリス

色彩 B&W

時間 85分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「原子人間」に次ぐ“クォーターマス”シリーズの第2作で、主演は同じくB・ドンレヴィ。郊外に降り注ぐ謎の小隕石群の調査に向かったクォーターマス博士は、そこで秘密裏に建設されている巨大な工場を発見する。付近の住民は口をつぐんでいるが、その工場は武装した兵士によって守られ、部外者は立ち入る事が出来ない。一方、小隕石と思われていたものは小型ロケットで、その内部には未知の宇宙生物が入っている事が判明。それに襲われた人間は、意識を支配されゾンビのように操られているのだ。なんとか施設に潜入したクォーターマスは、宇宙生物の侵略を阻止しようとするのだが……。ストレートな展開に終始した前作よりは、SFドラマとしての密度を上げているが、怪奇モノの要素は激減。宇宙生物に支配されているとはいえ人間ばかりで展開される物語は正直、面白味に欠ける。群生した宇宙生物が、プロブかヘドラといった風貌で出現するクライマックスは怪獣映画ぽくて悪くないのだが。クォーターマスの映画としては、この10年後に「火星地球大襲撃」が作られた。

【クレジット】

監督	ヴァル・ゲスト	Val Guest
製作	アンソニー・ハインズ	Anthony Hinds
製作総指揮	マイケル・カレラス	Michael Carreras
原作	ナイジェル・ニール	Nigel Kneale
脚本	ナイジェル・ニール	Nigel Kneale
	ヴァル・ゲスト	Val Guest
音楽	ジェームズ・バーナード	James Bernard
出演	ブライアン・ドンレヴィ	Brian Donlevy
	ジョン・ロンドン	
	シドニー・ジェームズ	Sidney James
	ブライアン・フォーブス	Bryan Forbes
	ウィリアム・フランクリン	William Franklyn
	ヴェラ・デイ	Vera Day